



# 米商進路だより

令和4年9月26日発行  
山形県立米沢商業高等学校  
進路指導部（第11号）

## 《 人生の節目と志 》

唐突ですが、人生には「節目」があります。節目の時期は人によって大きく異なりますが、その節目の一つひとつ乗り越えることができれば、次のステージが充実したものになったり、達成感や成就感を味わうことができるのです。言い換えれば、節目であることが気づきながらも自分を変えることができなければ、大きな負荷がかかり思うようにいかないことがあるのかもしれない。

さて、9月16日から就職試験が始まりました。3年生の就職希望者にとっては人生の大きな節目と言っても過言ではありません。7月に求人票が公開され、応募前の企業見学、履歴書の作成、そして面接・作文・SPI（適性検査）等の勉強に取り組み、受験終了後の電話で「受験が終わりました」の報告の電話には安堵感に包まれていました。「お疲れさま」と労いの言葉をかけ吉報を待つこととなります。

受験終了後には「受験報告書」の提出をしていただきますが、過去の入試状況を詳細に把握するためであり、翌年の受験生の貴重な財産となります。また、合格内定通知をいただいた場合には、お礼状（承諾書）を速やかに送付しなければなりません。合格通知書が送られてきたときの発送者宛（社長・採用担当者）に、今後の学校生活での意気込み等を書き就職試験の全日程が終了します。

ところで、手紙を送付するときに書かれた便箋と一緒に白紙の便箋を1枚添えて送るのが礼儀という話を聞いたことがありますか。「便箋1枚じゃ失礼」という話がありますが諸説あることを踏まえて話をします。「昔は紙が高価だったので相手への心遣い」「1枚だけ入れて送るのは失礼」「もっとたくさん書きたかった」等、諸説ありますが白紙の便箋を入れて2枚で送付するのが礼儀とされています。

むしろ、お悔やみやお見舞い状では、悪いことが重なることを連想する、2枚目を気にされる方もいらっしゃると思いますので1枚のみという場合があります。便箋の枚数にこだわるのではなく、相手にお礼の内容が伝わるのが重要であり、「内定をいただき感謝…」という言葉と「入社後の決意」が記載され、高校生らしい文言で記載すれば感謝の気持ちが相手に伝わるものと思っています。

### 【 今後の進路行事 】

期日	曜日	内容
9月29日	木	1年生ワクワクワーク
9月30日	金	進路講演会（生徒が希望する場合には担任迄）
10月5日	水	3年生進学模擬面接

3年生の進学希望者の総合型選抜の願書受付が始まっていますが、関係書類を揃えて期日まで申し込みを済ませてください。また、10月5日に模擬面接を行います。志望理由書等から想定問答集を作成し面接練習をする等、合格するために自主的・意欲的に行動することが合格への近道です！

## 《 なせばなる秋まつり（ボランティア活動） 》

9月23日（土）～24日（日）の2日間に3年ぶりに「なせばなる秋まつり」が米沢市伝国の杜周辺で開催されました。本校にボランティア（チケット販売・アンケート・抽選コーナー・エコステーション）要請があり、3年生並びに商業研究部商業研究班の総勢30名が地域行事に参加をしてきました。接客を通して、「ビジネス」を肌で感じる事ができた人もいて貴重なインターンシップになりました。

23日（土）は雨模様でしたが、本校ボランティアスタッフの「いらっしゃいませ」の掛け声があり販売された井ぶりは「完売」、24日（日）は天気にも恵まれたこともあり人気の井ぶりは「即完売」でしたが、スタッフとして活躍してくれた本校生徒の頑張りは目を見張るものがありました。来年は、本校生徒が考案した「井ぶり」をお客様に提供したいと考えています（⇒大事なところ）。

また、お客様のアンケートには、高校生ボランティアに対して「笑顔の接客が大変良かった」「礼儀作法がしっかりとしていて気持ちよかった」等の感想をいただきました。お客様には本校卒業生がいて「頑張れ！」とおっしゃって、飲み物やお菓子等の差し入れをいただくなどのサプライズもあり、達成感や充実感を味わう等の学びが多い1日になったと思っています。「志」が大切です。



ボランティアスタッフの様子（チケット販売・抽選・アンケート調査等）